

# 足立史談会だより

足立区立郷土博物館  
足立史談会事務局  
Tel 03-3620-9393  
Fax 03-5697-6562  
✉ shitanhui4@gmail.com

令和8年4月15日  
第433号

電話による問い合わせは、  
金曜日10～12時にお願  
いします。

## 「西新井周辺の歴史について」講演される。

(令和8年3月26日(木)午後1時～1時45分)

### 【はじめに】

花冷えのする雨模様のなか、大師前駅直ぐ前にある西新井センター2階会議室には、西新井大師(お大師様)近隣にお住いの堤北寿楽会(西新井老人会)会長・荻原 芳樹 様、以下20名(内8割が女性)の方々が集い、講師は足立史談会 相川 謹之助 会長でした。  
参加人数：27名(講師、スタッフ含む)。

なお、本講演の実施に至る、キッカケは、ボランティアセンター経由によるものでした。



西新井大師山門



講演の様子



会場の様子

### 【内 容】

- 冒頭、足立区の特徴と地形について、お話しされました。
  - 一つ目は、高台は、ほとんどなく全体が平らで、昭和の初期人工的に築かれた荒川の提防、10メートル程度のものであるだけで昔から全体的に平地であったことから、農耕地として、大変恵まれていたこと。
  - 二つ目は、四方が川(隅田川、中川、毛長川、綾瀬川等)に囲まれていたことから、江戸時代初期から、新田開発が盛んに行われ、稲作、養魚池等に恵まれた環境にあったこと。
- 西新井について、お話しされました。
  - 江戸時代の西新井と言えば、西新井を冠した現在の一丁目～七丁目、本町一丁目～五丁目、栄町一丁目～三丁目、そして興本1, 2丁目、本木1, 2丁目、本木(東西南北)町、扇1～3丁目を含む、広範囲を総称として西新井村と呼んでいたとのこと。
- 西新井と本木のエピソードについて。
  - 古く(室町時代、下足立郡淵江郷と呼ばれた頃)から、西新井、本木、興本、三地区の村名で発展してきたが、明治の時代になって、三村が合併する際には、村名を巡って一乱あったとのこと。お大師様(西新井大師)を理由に、西新井村を譲らない西新井地区と、広大な土地と戸数の多い本木地区とが、綱の引き合いとなり、結局のところ、村名は西新井村とし、小学校の名称は、本木小学校になったとのエピソード等をご披露されました。

### 【むすびにかえて】

戴いた講演時間の45分間で、広く深い歴史ある「西新井周辺の歴史について」どこまで、お伝え出来るか心配しておりましたが、皆様のご協力によりまして、無事終えたことに対し、感謝申し上げます。ご清聴ありがとうございました。以上 スタッフ一同。

## 令和8年度足立史談会総会のご案内

- |   |    |  |
|---|----|--|
| 1 | 日時 | 令和8年4月25日(土)13時～                               |
| 2 | 会場 | 足立区立郷土博物館                                      |
| 3 | 議事 | ①令和7年度事業報告、決算報告、監査報告<br>②令和8年度事業計画、予算<br>③役員人事 |